

学校支援を積極的に進める

子どもたちを共に育てる学校支援

尾張旭市立東中学校 P T A

1 はじめに

尾張旭市は、名古屋市の東に位置する工業・住宅都市で人口は8万人強、中学校3校、小学校9校の小規模な市である。

本校は市内3校ある中学校の一番東に位置し、瀬戸市と守山区に隣接している。昭和51年に、尾張旭市立旭中学校から分離独立で開校し、来年には創立50周年を迎える。生徒770名、24学級（うち特別支援学級3学級）である。

校訓は創造性豊かで、実践力あふれる生徒の育成を目指して「錬磨」と制定され、「豊かな知性」「誠実な心」「健康な身体」が身につくよう学校と家庭、地域が協力し教育活動を推進している。



【東中学校校舎】

2 研究への取組

(1) 研究のねらい

本校のP T Aは、家庭教育の強化を図るために、子どもたちとともに語ることを、そして学ぶこと、保護者としての自覚を高め責任を果たすことをねらいとして活動をしていく。

また、そのために、学校支援を積極的に進め、学校の教育活動の理解や参加促進などにより、子どもの成長を教師とともに支える。

さらに、地域社会との関係も密接にし、子どもたちにとって豊かな体験ができる環境の整備に尽力していく。

(2) P T Aの組織

本校のP T A組織は、会長1名、副会長1名、書記1名、会計1名、健全育成担当1名、執行部担当2名、会計監査2名の役員9名と、広報生活部12名、研究部12名、環境整備部12名に学校職員2名を加えた47名で運営をしている。

(3) 各部の主な活動

役員は市のP T A活動や健全育成、市の子育てに関する委員会に属し、地域社会が子どもたちのために行っている様々な活動へ参加し、学校教育への支援や助言などの諸活動を行っている。

広報生活部は、年3回発行している広報誌「ひんがし」の企画や運営を行っている。

研究部は、コロナ禍により最近では実施できていないが、保護者や委員の研修活動の企画運営、リサイクル活動などを行っている。

環境整備部は、学校花壇の作成及び整備をしている。

3 実践活動の概要

(1) 学校安全や生活支援にかかわる支援

① 制服などのリサイクル

研究部が中心となって、年2回の制服リサイクル回収と1回の学校用品リサイクル回収、2回（4月・11月）の制服などリサイクル販売を行っている。

制服だけでなく、体育館シューズや部活動の練習着など、学校公開に合わせて販売を行い、その前の期間に回収及び販売の準備を部員が協力して行っている。

リサイクル販売で得た収益金は、学校の生徒が中心となって行う活動、例えば部活動の大会参加費や生徒会が実施する行事の運営費などに充てられて生徒の教育活動に役立てられている。

② 合唱祭における交通整理

東中学校では、合唱祭の実施を学校から1.5kmほど離れた文化会館で行っている。各担任の先生が引率を行い、生徒たちの安全のために、交差点などのポイントをPTAの広報生活部が、交通整理を行った。道中は交通量が多いことや歩道橋などもあり、800名近い生徒が通行することは、混雑や地域の方の迷惑になってしまうこともある。保護者による支援によって、事故なく安全に移動をすることができた。

③ 校内安全点検

学校では先生方が、毎月1回の頻度で安全点検を実施している。毎月チェックすることで、速やかに危険な状況をキャッチし、校内での事故の未然防止につながる反面、表層的な点検に陥る恐れも考えられるため、保護者ならではの視点による気づきを期待し、PTA環境整備部の部員が教師と共に安全点検を実施した。

いつも学校にいる教員だけの視点では、見過ごされていた点も指摘があることや、生徒たちが安全に過ごせるように、教師が定期的に安全点検を実施していることも分かり、有効な活動となった。



【制服リサイクル販売】



【合唱時の交通整理】



【安全点検の実施】

(2) 学校行事に係る支援

① 学校保健委員会への参加

学校保健委員会は、学校と保護者が生徒の健康に関する問題について、ともに考え意見交換を行う場として令和6年度は1回開催された。

今年度は、「睡眠を考えよう」をテーマに、睡眠健康指導士である渡邊郁子様を招き、全校生徒と保護者に向けて講演をしていただいた。

全国平均と比較して、本校生徒の睡眠時間の短さや社会的な時差ぼけ、睡眠によって記憶が定着されることなど、睡眠を整えることの重要性について、分かりやすく教えていただくことができた。

また、講師の方が、生徒たちが、勉強や部活動など日々の生活が忙しく、分かっているけれど、なかなか行動に移せない実態も理解しており、今ある生活の中でどこを削って、少しでも睡眠時間をとるようにできるか考えることや、睡眠の質を上げるために就寝前にできる簡単なストレッチをするなど具体策を提案してください、生徒だけでなく保護者にも大変ためになる会となった。



【学校保健委員会】

② 入学式の受付

P T Aの役員が、入学式における来賓の受付を行った。教職員は、新入学生徒の入学通知の確認や、併せて行われる始業式の対応などで、どうしても人手が足りなくなってしまう。円滑な学校行事の運営のため、P T Aの支援が役立った。



【入学式の来賓受付】

(3) その他の支援

① あいさつ運動の支援

生徒会が年間3回計画している、学校のあいさつ運動を、地域の健全育成推進会議が主催する『地域のおじさんおばさんあいさつ運動』と合同で、P T Aも参加して実施した。

生徒会の役員は、自ら着ぐるみなどを着用してあいさつ運動を盛り上げるとともに、ボランティアの生徒を募集して、学校全体であいさつ運動を行った。生徒とP T A、さらに地域の方が加わり、最大200名を超える参加者によってあいさつ運動を行った。



【あいさつ運動の様子】

② 花壇整備の支援

緑化委員が整備している、学校花壇の苗のポットあげや花壇への定植作業などを、年4回（5月と6月・10月と11月）環境整備部が行った。

特にポットあげ作業は、種から育てた弱い苗のため、大人の手による丁寧な作業が必要となった。水やり作業については、自動散水栓の設置によって、夏季の当番活動はなかったが、ボランティアによる除草作業など行い、きれいな花が咲くように活動した。



【花壇への定植作業】

③ 広報誌の作成

学校行事や学校の教育活動の様子を保護者や地域の方に知ってもらうために、PTA広報誌「ひんがし」を年3回（7月・12月・3月）発行している。

広報生活部の部員が、各学期で担当を分けて、体育祭や合唱祭の写真撮影を行ったり、企画構成を行ったりしている。

完成した広報誌は、生徒を通じて各家庭に配布するとともに、校区の各町内会へ回覧版でまわし、学校の教育活動の様子を紹介している。



【体育祭の様子】

④ スマイル委員会への参加

生徒会の取組に対し、地域の機関の代表者と共に、PTA会長と副会長が参加している。

生徒会が実施している諸活動の説明に加え、生徒たちが考えた校則の改正案や、改正に至るまでの道筋を聞いた。

生徒には、保護者目線の意見を伝え、各家庭が納得できる改正案となるように助言をした。

4 おわりに

この研究を通して、これまで実施してきたPTAの諸活動が、しっかりと学校支援につながっていることや、保護者や地域の方に、学校の教育活動の理解や関心を高めることに大きな役割を果たしていることが分かった。

また、保護者が積極的に学校の教育活動に関わることで、子どもたちにとって豊かな体験ができる環境の整備に役立っていることが実感として得られた。学校と相談し、PTA活動を持続可能な活動となるよう、これからもよき支援者として活動していきたい。